

**I. 私たちはレビ記第11章の食べることの真の意味を知るために、食べることの意義を知る必要があります:**

A) 食べることは、私たちの外側のもとと接触することであり、私たちの内側に影響を与えます:

① 食べることは単に食物と接触するだけでなく、食物を私たちの中へと受け入れることでもあります。  
エレミヤ15:16 あなたの言葉が見いだされて、わたしはそれを食べました。あなたの言葉はわたしにとって、心の楽しみ、また喜びとなりました。エホバ、万軍の神よ、まことに、わたしは、あなたの御名によって呼ばれているのです。

② いったん食物が私たちの中へと受け入れられると、その物は内側で消化されて、私たちの構成要素、すなわち私たちの存在、私たちの構成となることができます。

③ 私たちはみな、私たちが食べ消化する食物から構成されています。私たちが消化するものは、私たちの構成となります。

B) 主を取り入れて彼を消化し、吸収して、彼が私たちの命となることは、私たちが主の食卓のパンを食べることによって表徴されています:

マルコ14:22 彼らが食事をしていた時、イエスはパンを取り、それを祝福してさき、彼らに与えて言われた、「取りなさい。これは私の体である」。

① 主の食卓のパンを食べることが示しているのは、主が私たちの命の供給として私たちの中へ入り、それからそのパンが私たちとなり、食物が私たちとなり、私たちがパンとなるということです。

Iコリント10:17 一つパンであるからには、私たちは数が多くても一つからだなのです。それは、私たちがみなこの一つパンにあずかるからです。

② 私たちと、私たちが食べ、消化し、吸収する食物との間には有機的な結合があるだけではありません。私たちはまた、私たちの中へと吸収する食物とミングリングされます:

a. 同様に、私たちはキリストを私たちの食物とするとき、彼とミングリングされます。

b. 食物を食べ、消化し、吸収することは、食物と私たちの存在との内在的なミングリングを生み出します。食べ、消化し、吸収することはまた、一種の「なること」と関係があります。なぜなら、私たちが吸収する食物は、私たちの存在そのものとなるからです。

C) 神は、私たちが彼を食べ、消化し、吸収することを願っています。それによって私たちは神格においてではなく、命、性質、構成、表現において神となります:

ヨハネ6:57 生ける父が私を遣わされ、私が父のゆえに生きているように、私を食べる者も、私のゆえに生きる。

① 主イエスは神のパン、すなわち命のパン、生けるパン、天からのまことのパンです。

ヨハネ6:51 私は天から下って来た生けるパンである。だれでもこのパンを食べるなら、永遠に生きる。私が与えるパンは私の肉であり、世の人の命のために与えるものである。

② 神は私たちによって消化され、吸収されることを願っています。それによって彼は、私たちの内側の存在の構成要素となることができます。

③ 私たちは、私たちが食べたものであるのも、私たちが神を私たちの食物として食べるなら、私たちは神と一になり、神格においてではなく、さらには命と性質においても神となります。

D) 私たちが天の王国の実際となる方法は、すべてを含むパンとしてのキリストを食べることです:

① 神のエコノミーは、外側の事物にあるのではなく、キリストが内側で私たちの中へと入ることにあるのです。このために、私たちはキリストを食べることによって、キリストを取り入れる必要があります。

② 天の王国の実際は、キリストご自身です。

③ キリストは天の王また王国そのものとして、パンとしてのご自身で私たちを養うことによって、私たちに支配します:

a. 私たちは、私たちの食物としてのキリストで養われることによってはじめて、天の王国の実際となることができます。

b. 私たちがすべてを含むパンとしてのキリストを食べれば食べるほど、ますます王の成分が私たちの中へと構成され、私たちの内側で支配する要素となり、私たちにキリストの増し加わりとならせ、天の王国の実際とならせます。』

④ すべてを含むパンとしての王なるキリストを食べることによって、私たちは内側で清められます:

a. 私たちが内なる存在において清められるために、何か私たちの中へと入らなければなりません。食べることによってはじめて、このことが起こり得ます。

b. キリストは私たちの食物として、最上の清める要素です。彼は私たちの内なる存在を洗い、それによって私たちは、私たちの性情の洗いを経験します。

c. 私たちはみな、主から来る内側の清め、すなわちイエスを食べることから来る清めを必要とします。

E) イエスを食べることが、勝利を得る秘訣です。勝利者となる唯一の道は、イエスを食べることです。  
啓2:7 耳のある者は、その霊が諸召会に言われることを聞くがよい。勝利を得る者には、神のパラダイスにある命の木から食べさせよう。

3:20 見よ、私は戸口に立って、たたいている。だれでも私の声を聞いて戸を開くなら、私は彼の所に入って行き、彼と共に食事をし、彼は私と共に食事をするであろう。

F) レビ記第11章が食事との関連において、死について語っているという事実が示しているのは、私たちの食事、私たちの食べるものが、生死にかかわる事柄であるということです。

## II. レビ記第11章は、死と大いに関係があります：

- A) 死は神にとって忌むべきものです。神の目に、死は最も醜いものですが、命は最も尊いものです。』
- B) エデンの時以来、神とサタンとの争いは、死と命との問題です。  
Iコリント15:26 死は最後の敵として滅ぼされます。
- C) 聖書によれば、死は罪よりも汚すもの、忌むべきものです：レビ11:31 すべての群がるもののうちで、これらはあなたがたに汚れたものである。これらのものが死んだとき、それに触れる者はみな、夕方まで汚れている。  
① 違犯のためのささげ物を通して、どんな罪も直ちに赦されることができましたが、動物の死体に触れる人はみな、夕方まで汚れていました。  
② 私たちが自分の罪を神に告白した後、直ちにそれらは赦されますが、霊的死の汚れから清められることができるには、一定の期間を経過しなければなりません。
- D) 死は極めて大きな力です。神を除いて、死は宇宙で最大の力です。
- E) 死は悪魔と連合しています：  
① 悪魔は神の敵であるので、死も神の敵です。  
② 死は、神が滅ぼす最後の敵です。』
- F) 召会に対する攻撃は、ハデス[陰府]の門から、すなわち死からやって来ます：  
① サタンが召会を攻撃するために用いる究極の武器は、死です。  
② キリストの命と、キリストの命から出てくるものだけが、ハデス[陰府]の門に勝ちます。  
ヨハネ11:25 イエスは彼女に言われた、「私は復活であり、命である。私の中へと信じる者は、たとえ死んでも生きる」。  
③ 神は、召会がキリストの命を現すことを意図しています。こういうわけで、召会は命に満ちていなければなりません。  
④ 私たちは自分自身では死に打ち勝つことはできません。なぜなら、サタンが死を私たちの中へと注入したからです。死に打ち勝つことのできる唯一の方は、主イエス・キリストです。  
Iコリント15:22 なぜなら、アダムの中ですべての人が死んだように、キリストの中ですべての人が生かされるからです。
- G) キリストは十字架上で死を味わい、悪魔を滅ぼし、死を廃棄しました：  
① 主イエスが死を味わったのは、人のためだけでなく、神によって創造されたあらゆるもののためでもありました。それによって神はキリストの中で万物をご自身に和解させることができました。』  
② キリストは、十字架上で彼の死を通して、死の権能を持つ者、すなわち悪魔を滅ぼし、死の恐怖のゆえに奴隷とされていた者たちを解放しました：  
a. 神の御子が肉体と成ったのは、彼が十字架上で死を通して、人の肉体の中の悪魔を滅ぼ

すためでした。これはサタンを廃棄することであり、彼を無に帰すことでした。

b. 主が死の権能を持つ者、すなわち悪魔を滅ぼしたので、死の恐怖のゆえに奴隷とされていた私たちは、彼によって解放されました：

① 死は私たちを王として支配していたので、私たちは死の奴隷状態の下にあって、絶えず死を恐れていました。

② 主が悪魔を滅ぼしたので、今や私たちにはもはや死の恐怖はなく、死の奴隷状態から解放されています。

③ キリストは十字架上で彼の働きを通して、死を廃棄しました：IIテモテ1:10 …私たちの救い主キリスト・イエス…は死を廃棄し、福音を通して命と不朽を現し出されました。

a. キリストは悪魔を滅ぼす彼の死を通して、死を無に帰しました。

b. 死を廃棄することは、死を取り除くことではなく、死を無効にすることです。死は火の池の中へと投げ込まれる時、取り除かれます。

c. 死はまだ取り除かれていませんが、それにもかかわらず、死が十字架上でキリストの死を通して廃棄されたことは事実です。

H) 主イエスは彼の復活を通して死に打ち勝ち、死を打ち破りました。

① 悪魔が主イエスを攻撃するのに最後に用いたものは、死でした：

a. キリストは来て、彼の敵、すなわち死の権能を持つ者に相対しました。

b. 主イエスは死を避けることをしませんでした。なぜなら、彼は死を恐れておらず、ご自身が死に打ち勝つことを知っていたからです。

c. 主はご自身を死に渡されましたが、死は彼を拘留することはできませんでした。それどころか、死は彼によって打ち破られ、彼は死から復活しました。

② 死は主を捕らえることはできず、墓は主を制限することはできず、ハデス[陰府]は主を拘留することはできませんでした。主は復活しました。復活とは死に打ち勝つことです。

I) 復活したキリストが命を与える霊として私たちの中に住んでいるので、私たちは死を命の中で王として支配することができます。神聖な命は私たちを座に着かせて王とならせ、死を命の中で王として支配するようにさせます。

ローマ5:17 もし一人の違犯によって、死が一人を通して王として支配したなら、あふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜物を受ける者たちは、さらにいっそう一人の方、イエス・キリストを通して、命の中で王として支配します。

J) キリストのからだを建造するために、私たちは命を供給する必要があります。私たちは内側にある復活の命を経験し、享受して、それから経路となることによってこの命を供給し、この命をからだの他の肢体の中へと流れさせることができます。』

## 経験①: 霊的健康食品である神の言葉を毎日食べる

神は、人が神の器となって神を入れることを願っているだけでなく、人が彼を食べ、消化し、吸収することも願っておられます。私たちは物質の食物を食べ、消化し、吸収するとき、活気づけられ、力づけられます。…最終的に、私たちが食べた食物は私たちの存在の繊維、組織、細胞になります。同じように、神の永遠のご計画はご自身を私たちの中へと分与して、彼が私たちの内なる存在のあらゆる繊維組織となることです。神は私たちによって消化され、吸収されることを願っておられます。それによって彼は、私たちの内側の存在の構成要素となることができます。

私たちは外側の儀式や慣例を必要としません。…神のエコノミーは、外側の事物にあるものではありません。それはキリストが内側で私たちの中へと入ることにあるのです。このために、私たちはキリストを食べることによって、キリストを取り入れる必要があります。

私たちはどうすれば王国において神のみこころを行なうことができるのでしょうか？ イエスを受け入れる以外に道はありません。私たちは神のみこころを自分自身で行なおうとすべきではありません。私たちは失敗するだけです。神のみこころを成就する道は、いつも神に従う方を受け入れることです。イエスは従順の王国です。私たちはただ彼を受け入れ、子供たちのパンとしての彼を食べる必要があります。私たちは異邦人の犬であるかもしれませんが、みな食卓の下で私たちの分け前を持っています。私たちはみな王なるイエスを食べて、彼を私たちの中へと受け入れることができます。すべての王の要素がこのパンの中にあります。私たちがイエスを食べれば食べるほど、ますます王の成分が私たちの中へと入ります。ハレルヤ！内側のそのような支配する要素のゆえに、主を賛美します。

マタイ 15:2 「なぜあなたの弟子たちは、昔の人たちの言い伝えに違反するのですか？ 彼らはパンを食べる時に手を洗っていません」。18 しかし、口から出るものは心から出るのであって、それが人を汚すのである。20 これらが人を汚すのである。しかし、洗わない手で食事をして、人を汚すことはない。26 イエスは答えて言われた、「子供たちのパンを取り上げて、子犬に投げてやるのはよくない」。27 すると彼女は言った、「主よ、そうです。しかし、子犬でさえ、主人の食卓から落ちるパンくずはいただくのです」。

### 中高生編

栄養学者が言っているように、あなたは、あなたが食べたものです。これは、あなたが食べる物があなたの体を構成するという意味です。あなたが魚を食べると、魚のたんぱく質があなたの体を構成するたんぱく質となります。この物質的な原則は、霊的な事柄でも全く同じです。聖書はあなたが霊的に食べることを極めて重視しています。

マタイ 4:4 しかし、イエスは答えて言われた、「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出るすべての言葉によって生きる』と書かれている」。

ルカ 15:23 また、肥えた子牛を引いて来て、ほふり

なさい。食べて楽しむのではないか。  
ヨハネ 6:51 私は天から下って来た生けるパンである。だれでもこのパンを食べるなら、永遠に生きる。私が与えるパンは私の肉であり、世の人の命のために与えるものである。57 生ける父が私を遣わされ、私が父のゆえに生きているように、私を食べる者も、私のゆえに生きる。63 命を与えるのはその霊である。肉は何の役にも立たない。私があなたがたに語った言葉は霊であり、命である。

啓 2:7 耳のある者は、その霊が諸召会に言われることを聞くがよい。勝利を得る者には、神のパラダイスにある命の木から食べさせよう。

物質的に食べることで重要なのは、「毎日」、「健康食品」を食べることです。ですからあなたは霊的にも「毎日」、「健康食品」を食べてください。実際的には、毎朝の約 10～15 分を聖別し、健康食品である神の御言葉を、霊を活用して祈り読みしてください。あなたは主の中で成長するために、「毎朝主を食べる」生活習慣を打ち立てる必要があります。この食べる習慣は必ずあなたの学生生活を祝福する源になりますので、主の恵みに頼って、良い生活習慣を建て上げてください。

祈り:「おお主イエスよ、聖書は実に食べることを強調しています。それは主を食べることが私にとって極めて重要であるからです。主を食べる者は、主のゆえに生きることができます。主を食べるなら、主の成分が私の魂を新陳代謝的に造り変え、私の魂が主と同じに同形化されます。主イエスよ、毎朝、霊的健康食品である神の言葉を祈り読みし、主イエスを食べる生活習慣を確立させてください。主を食べることによって、私の学生生活が引き上げられ、祝福されますように。アーメン！」

## 経験②: 自分の舌を聖別し、建造に良いことだけを語る

すべての死んだものは汚れています。ですから、汚れは死と等しいのです。死は罪よりも汚すもの、忌むべきものです。しかし私たちの観念によれば、罪は死よりも厳粛です。…私たちは倫理的で道徳的な観念のゆえに、うそをつくのは罪深いことを知っています。だれかが私たちにうそをついたら、私たちはそのうそを罪深いものとして罪定めするでしょう。しかしながら、私たちは、倫理的な話が死に満ちているかもしれないことを認識していないかもしれません。例えば、私たちがいる兄弟と彼の家族について話していることが、死と関係があるかもしれません。そのような話は倫理的ですが、なおも死に満ちています。

私たちはどのようにして死に打ち勝つことができるのでしょうか？ 私たちは自分自身では決して死に打ち勝つことはできません。なぜなら、サタンが死を私たちの中へと注入したからです。死に打ち勝った唯一の方は、主イエス・キリストです。十字架上の主の働きの目的は、サタンを死に渡すことでした。サタンは死を通してこの世を支配しましたが、キリストは死を通してサタンを滅ぼしました。主の死は終結させる死ですが、サタンの死は終結しない死です。キリスト

の死は完全であり、徹底的なものです。他のすべての死は単なる死にすぎませんが、キリストの死は終結です。ハデス[陰府]の死、体の死、火の池の死は、何も終結させることはできません。キリストの死だけが終結させます。キリストの死はサタンを終結させ、「死」そのものさえ終結させました。

キリストが死の苦しみのゆえに、御使いたちより少し劣ったものとされたのは、神の恵みによって、あらゆるものために死を味わわれるためでした。これが意味するのは、彼があらゆるものために死なれたということです。キリストが死を味わわれたのは、人のためだけでなく、あらゆるもの、あらゆる被造物のためでもありました。

### 在職青年/家庭生活編

ビジネス・パーソンとして、あなたは自分の舌が死あるいは命につながっていることを認識してください。あなたが語る言葉によって、あなたは死につながり、あるいは命につながるのです。

**箴言 18:21** 死と生は舌の手中にあり、それを愛する者はその実を食べる。

あなたの舌の手中にある死とは、必ずしも邪悪なものとは限りません。むしろ多くの場合それは邪悪ではないのですが、死に満ちています。例えばうわさ話はある事実に基づいているかもしれませんが、それは死に満ちており、死をまき散らします。また、肉親のことを語る時、あなたは天然の愛情でそれを語ることに注意してください。実はそのような語りは死に満ちています。以下のマルコ3章の事例を読むと、人々のイエスのことについての彼の肉親に対する天然の心配から来る言葉が、結局、聖書学者たちにイエスを冒瀆する道を開きました。

**マルコ 3:20** それからイエスが家に入られると、再び群衆が集まって来たので、彼らはパンを食べることさえできなかった。**21** イエスの身内の者たちはそれを聞くと、彼を取り押さえに出て来た。人々が、「彼は気が狂っている」と言ったからである。**22** さて、エルサレムから下って来た聖書学者たちは、「彼はベルゼブルにとりつかれている」と言い、「彼は悪鬼どものかしらによって、悪鬼どもを追い出しているのだ」と言った。FT「彼は気が狂っている」：人々が「彼は気が狂っている」と言ったのは、奴隷-救い主の身内の者たちのための、イエスについて天然の心配を表した叫びでした。それは、続く22節で聖書学者たちが彼を冒とくする道を開いてしまいました。

ビジネス・パーソンとして、あなたは会社で間違ったことを語らないように訓練するだけでなく、死につながったものを語らないように注意してください。例えばある人は会社で、上司を批判する雰囲気を含んだ会話をします。最初は悪意を隠していますが、結局聞く人にその上司を憎ませるように導こうとします。あなたはこのようなゴシップを聞くことさえしてはいけません。

またあなたは肉親に対する天然の愛情のゆえに、彼らに対して神の真理を真っ直ぐに語る事ができません。例えば親戚や自分の子供が大学受験をするとき、天然の愛情のゆえに、「とにかくまず少しでも

いい大学に合格することが先決だ。召会生活はその後で良い」と考えて、そのように祈ります。このような祈りは天然の祈りであり、神のエコノミーの原則である、「まずキリストと召会生活を追い求める」というものとは異なります。このような天然の祈りや会話は、受験生であるその若者を堕落させます。

**エペソ 4:29** 腐敗した言をあなたがたの口から出すことなく、必要に応じて、建造するのに良い言だけを語り、聞く人たちに恵みを与えるようにしなさい。

あなたはまず聞く人の霊的幸福を考慮して下さい。霊的幸福とは、「神のエコノミーのゴールである召会を建造する」かどうかで判別されるべきです。

**祈り**：「おお主イエスよ、私の舌は死につながり、死をまき散らす可能性があり、また、建造に良い言を語り、他の人を建造し、召会建造に至る可能性もあります。したがって、私が私の舌を正しく支配することが極めて重要です。主よ、あなたの恵みに頼り、自分の舌を支配することを学ばせてください。ゴシップを語ったり、聞いたりすることから救ってください。ビジネス・ライフにおいても、ファミリー・ライフにおいても、まずキリストと召会を追い求めることができますように。神のエコノミーの中で、私のビジネス・ライフとファミリー・ライフを祝福してください。アーメン！」

### 詩補 113 (中補 115) 霊と命—霊の中で享受する

主を食べ、主を飲み、あまき主にあずかる。  
主の豊富を実さいとし、安そくし、飽き足る。  
れいのなかで、キリストたのしむ。  
れいのなかで、おお、主よ、キリスト享受する！

### 詩補 506 (中補 508 英 1226)

#### 召会のビジョン—キリストのからだとして

- 1 主はひとつの栄ごうの召会を持つ。  
われら主にありて分あり。  
見よ、宇ちゅうにあるひとつのからだ、  
主はわれらをいちとする。  
ハレルヤ、みからだ、われらその肢たい、  
すべては完成して、主はわれらをいちとする。
- 2 孤りつせず団体のあたらしいひと。  
主ご自身を完全に表現す。  
いま地方だけでなく団体のからだ、  
われらはそのうちにある。  
ハレルヤ、みからだ、サタンをおびやかす。  
からだにあり勝利、われらはそのうちにある。
- 3 主の神せいな性しつがあらわれる、  
ななつの金のしよくだいに。  
からだの生かつに天然の存在なし、  
ひかり発し照りかがやく。  
ハレルヤ、みからだ、そは金のしよくだい、  
いたるところにて、ひかり発し照りかがやく。
- 4 いかにしんせいになり、かがやくか、  
いかにいちとされるのか？  
主はいのちの木、新せんえんせき、  
日々イエスを食べるはみち。  
イエスを食べていち、イエス食べ聖とされ、  
イエス食べかがやく、ハレルヤ、イエス食べるみち！